入院診療計画書

やわたメディカルセンター

様　入院日：　年　月　日　病棟：　号室　西暦　年　月　日

病名・症状：　パス名：**骨折観血的手術_前腕**　担当医：　印　看護師：

担当看護師：　担当薬剤師：　担当栄養士：　西暦　年　月　日

総合的機能評価：　患者様・ご家族様サイン

期　間	No	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
経　過		入院～手術	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日	術後2日	術後3日　退院	自宅
達成目標	P	●患者及び家族が治療内容を理解している。 ●手術前後の食事・安静度について理解できる。	●手術前後の食事・安静度について理解できる。 ●手術への不安が最小限である。	●麻酔から全覚醒する。 ●安静臥床ができている。 ●痛みのコントロールができる。 ●チアノーゼがない。 ●抗生剤の副作用がない。	●患部の異常が見られない。 ●痛みのコントロールができる。 ●退院後の生活が理解できる。 ●抗生剤の副作用が見られない	●患部の異常が見られない。 ●痛みのコントロールができる。 ●退院後の生活が理解できる。	●退院後の注意事項を理解する。 ●退院できる。	●退院後の注意事項を理解する。
退院基準	P					●傷口の異常がなく、自分または家族の協力を得て、身の周りの動作ができれば退院です。	●自分または家族の協力を得て、身の周りの動作ができる。 ●退院は9:30までにお願いしております。	
活動・安静	P	・病院内での活動は自由です。		・手術から病室に戻り、3時間はベッド上安静です。 ・3時間後に歩行できます。	・活動は自由です。 ・手術後は手術した方の手に体重をかけたり、何かに掴まったり、重い物をもつ動作は避けましょう。	痛みに応じて、リハビリで確認後、自分でできる日常生活動作を行っていきます。	・身の回りの動作ができるようになれば、退院となり、自宅もしくは外来リハビリテーションへ移行します。	
栄養（食事）・排泄・清潔	P	●手術前日の21時から食事は食べられません。アメ、ガムも食べられません。水、お茶、スポーツドリンクのみ飲めます。 ・手足の爪切りをお願いします。 ●特別な栄養管理の必要性 【 有　・　無 】	・手術が午前の場合は6時まで、午後の場合は8時以降は飲む事ができません。 ただし、内服薬がある場合は少量の水で内服してください。 ・入浴できないので、蒸しタオルで体を拭きます。	・手術終了3時間後から水分、食事をとることができます。 ・病室に戻り、3時間は尿器での排泄となります。 ・3時間後は、歩いてトイレに行けます。	・傷口がフィルム保護になれば、シャワー浴ができます。			・再診日抜糸後、創部の異常がなければ入浴ができます。
治療・処置	P	★手術予定時刻 時頃 ・入院当日、マニキュア、ペディキュアをされている方は落としてください。 ・爪を短く切ってください。 ・口の周りの髭は全て剃ってください。	・内服薬：麻酔科看護部指示参照 ・健側前腕22Gサーフロ針留置 ・術前処置（爪切り） ・術前訪問（手術室） ・生理日確認、緑内障確認 ・義歯を外す ・手術室持参 →生食100ml＋セファゾリンナトリウム1g →サブカルテ →点滴棒 →挙上シーネ	・帰室時より酸素マスク・心電図モニターをつけます。主治医の指示に従い外します。 ・手術後の酸素マスクは麻酔医の指示で時間が決定します。 ・食後から鎮痛剤の内服がはじまります。 ・病室に戻って、6時間後に抗生剤の点滴があります。	・創創部の処置があります。	・創部の処置があります。 ・傷口に異常がなければ退院できます。	・創部の処置があります。	・再診日に抜糸をします。埋没縫合の場合は、抜糸はありません。フイルムを除去して、傷口の状態を確認します。
説明・指導・栄養・服薬	P						●創部の管理方法の説明があります。 ●退院後の生活について説明します。	
リハビリ	P				痛みに応じて指や手首の運動を行います。 手術した方の手に体重をかけたり、重い物をもったりしないよう注意しましょう。	痛みに応じて、日常生活動作練習や家事動作などの練習を行います。	痛みに応じて、腕の運動を開始します。 ●通院でのリハビリテーションへ移行します。 ・自宅で行なえる運動をご紹介します。 ・退院後の生活のアドバイスをお伝えします。	●手術をした方の手に体重をかけたり、重い物をもつ動作は、退院後主治医に相談してから行ってください。